

人を対象とする生命科学系・医学系研究「口腔由来検体を用いた次世代シーケンシングHLA タイピング法の開発」への参加のお願い

同種造血幹細胞移植（健康な他人をドナーとする移植）は、難治性血液疾患に見舞われた多くの患者さんを救命に導く治療法ですが、その実施にあたっては、患者さんとドナーが保有する正確な HLA タイピングの情報が必要です。これまでのタイピング方法では、完全な HLA 遺伝子の情報を得ることが困難でしたが、最近、「次世代シーケンシング」と呼ばれる方法を用いることにより、HLA 遺伝子の配列をほぼすべて解読することが可能となりました。適正な「次世代シーケンシング」を行うためには、採血を行い、白血球から品質の良い DNA を分離することが必要です。しかしながら、採血を行うために医療機関などに赴くことは、便宜性には優れず、骨髄バンクへのドナー登録者数が増加しにくい要因となり得ることが指摘されています。そこで、このたび、血液のかわりに、ドナー希望者自身が採取可能な唾液や口の中の粘膜に由来する DNA を用いて、次世代シーケンシングによる HLA タイピングを適切に行うための条件を調べるための研究を行うことといたしました。研究にご協力いただける場合、健康に関する調査票をご記入いただき、血液 2 ml と唾液 2 ml、プラスチックでこすり取った口の粘膜（口腔粘膜スワブ：左右の頬の粘膜と舌を 10 回ずつこすり、採取します）をご提供いただきます。

なお、この研究は、広島大学疫学研究倫理審査委員会の審査を受け、複数の研究機関によって実施されています。研究代表機関：国立大学法人広島大学 研究責任者：一戸 辰夫（いちのへ たつお）連絡先(FAX): 082-256-7108

もし、このポスターを読まれ、この研究に参加してみたいと思われた方は、以下に記載の研究責任者までご連絡ください。研究への参加は自由ですので、あなたの意思に基づいて決めてください。実際の説明を受けた後で、研究に参加しないとお決めになられた場合でも、あなたに不利益が生じることは決してありません。

●研究参加可能期間：2022年3月15日（倫理委員会承認日）～2022年6月30日まで

●研究に参加していただける方（他の条件により、参加していただけない場合があります）

1）研究参加時の年齢が20歳以上である。

2）以下のいずれかに該当する。

① 血縁者への造血細胞提供を目的として研究責任者/研究担当者が所属する研究教育機関が

研究責任者氏名：血液腫瘍内科 鬼塚 真仁

連絡先：代表 0463-93-1121 内線：2230

研究機関名：東海大学医学部付属病院